

# こんにちは もうり 栄子です



クリンソウをバックに建設予定地

新型コロナウイルス感染症は多方面にわたりがつて経験したことのない大きなダメージをもたらしました。6月議会ではコロナ対策を中心に総額650億円弱の補正予算が提案され成立しました。この間多くの団体や県民の皆さんから切実な声を伺い、予算に反映できるよう最大限の努力を重ねてまいりました。

加えて7月豪雨災害。亡くなられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに被災された皆さんにお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興。当たり前前に暮らせる生活を取り戻すために力を尽くしてまいります。

## 学習の遅れは詰込みでなく 子どもの心のケアに配慮して

コロナに関わって長期休校を余儀なくされたことで、学習の遅れを取り戻すために行事の中止や夏休みの短縮、7時間授業などが検討されています。2か月間の休校や外出自粛の中で、子ども達はストレスをためたまま登校しています。学習内容を精選し、詰込みにならないよう子どもの心のケアに配慮した対応を求めました。

また、オンライン学習の必要性が叫ばれるようになったが、1人1台のパソコンがある自治体がある一方、10人に1台の自治体もあります。市町村ごとの格差に対し、財政負担も伴うことから県教委としてきめ細かく対応することを求めました。

## 県立高校の3密を避ける取り組みのために 教職員の増員を

1クラス40人で対応している県立高校は、3密を避けるためにロッカーを廊下に出すなどの対応をしていますが、人との距離を2メートル開けることはとてもできず、現場からは厳しい現状が報告されています。

県教委は、習熟度別や選択講座制をとっているために、さほど密にならないと答弁。私は南信地域の普通科高校の例を挙げ、2年の前期までは40人学級。2年の後半から5学級を6講座に分ける選択講座制を実施していますが文系は希望者が多く40人で過密になっていると指摘し、コロナ禍のもと少人数の「新しい生活スタイル」に対応できるよう国に教職員の増員を求めて欲しいと要望。全国知事会も要望しています。

## 住民要望を受け止め知事に2回、県議会対策本部に5回の申し入れ

コロナ問題でこの間、諏訪商工会議所、諏訪市観光協会、県教委、新婦人長野県本部、農民連、高教組、県教組、民医連などと懇談させていただき、地域訪問の中で多くの皆さんから要望をお聞きし、その都度、行政に改善と具体的な提案をさせていただいてきました。

PCR検査センターの設置、雇調金申請の簡素化、病院の空床補償、国・県の制度から外れる皆さんへの支援金支給、観光・宿泊業者への支援、被虐待児への特別給付金支給など一步一步前進しています。ぜひ様々な要望を県議団までお寄せください。



諏訪商工会議所・観光協会のみなさんと懇談

## 日本共産党県議会報告

No. 5 2020年8月 【2020年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室  
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322  
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

